
所 属 : 国際学部
職・氏名 : 教 授 湯浅 正恵
研究キーワード : 社会システム リスク社会 平和 芸術

■研究テーマ

① テーマ : 3.11 以後の日本社会

概要 : 近代を象徴する原子力発電の福島での大事故の後、人々は何を感じ、何を考え、どこに向かおうとしているのか。「避難者」や原発反対運動、また内部被曝を問題化する広島「黒い雨」裁判をめぐるローカルな社会関係から、日本社会を考えます。

■研究テーマの応用例

■主な著書、発表論文

「リスク社会のシステム境界-東京電力福島第一原発事故後の言説を事例としての一考察」『<際>からの探求』広島市立大学国際学部叢書 7, 2017, 文眞堂.

Out of Shadow: A collaborative arts performance for the black rain hibakusha Kasai, A. and Yuasa, M. *Journal of Applied Arts & Health* 7/ 2, 175-190 2016

「ダイアローグス・イン・ザ・ダーク- 上関原発反対運動に呼応する、ひとつの表現の可能性」2010 ボランティア学会学会誌 : 140-152.

‘Future of August 6th 1945: A case of ‘peaceful utilization’ of nuclear energy in Japan.’ *Study of Time*, Vol.14, 2013.

「3. 1 1 後、痛みを生きる」2012 ボランティア学会誌. 2013.

‘Whistle in the Graveyard: Safety Discourse and Hiroshima/Nagasaki Authority in Post-Fukushima Japan.’ *Japan’s 3/11 Disaster as Seen from Hiroshima*, 2013 Soeisha/Sanseidoshoten.

■主な特許、芸術作品等

8人のアーティストの共同作品アート・パフォーマンス「黒い雨」を企画、制作。

<http://www.hiroshima-cu.ac.jp/event/content0404.html>

核被害者をテーマとした演劇作品「ダイアローグス・イン・ザ・ダーク」の企画、制作。

■想定される連携先

上記研究テーマにご関心のある方はどなたでも。